■創　立　／　昭和 29 年 6 月 3 日　■第 66 代　会長　／　藤田　浩二　幹事　／　吉野　貴美
■事務所　／　藤沢市藤沢 93 新堀ライブ館 204　TEL：0466-25-4000　FAX：0466-26-9292　E-mail：info@fujisawa-rotary.com
■例会日　／　毎週水曜日 12:30～13:30　■例会場／　湘南クリスタルホテル TEL：0466-28-2111

NO.12　第 3177 例会　２０１９年　１０月　２日　天候　曇り

国歌「君が代」
ロータリーソング「我らの生業」
四つのテスト　今井　重信　会員

≪ゲスト・ビジターの紹介≫

ゲストスピーカー：松永　大希　様
（一般社団法人藤沢青年会議所　理事長）

≪会長報告≫

・藤沢市民祭りのポリオ募金にご参加、ありがとうございました。暑い中、お疲れ様でした。募金額は、124,000 円でした。
・北九州豪雨被害地への義援金ですが、会員皆様からのお預かりした 38,500 円に特別スマイルより 500 円足して、39,000 円で地区財務委員会経由で送金しましたので、報告いたします。
・昨日より消費税が変わりました。私の事業所でも税理士の先生のセミナーが何度もありました。皆様のところは、いかがでしょうか。

≪幹事報告≫

・例会後に理事役員会を開催いたします。理事役員の方は、ご出席お願いいたします。
・受付で封筒をお渡ししています。10～12 月の年会費の請求書を配布しております。よろしくお願い致します。
・米山奨学会より、「ロータリー米山記念奨学事業 2019－20 年度版豆辞典」も同封しております。
・今年度の会員名簿を作成いたします。作成にあたっての書面も同封しておりますので、ご確認いただき、へご連絡ください。
・ロータリーの友 10 月号を配布しておりますので一冊筒お持ちください。
・椋梨先生から、カンボジアのお菓子をお土産にいただきました。ありがとうございます。

出席報告　（　　）内は計算に用いた会員数

例会月日	会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率	メークアップ会員数	修正出席者数	修正出席率
9月18日	45(44)名	25名	19名	56．82%	1名	26名	59．10%
10月2日	44(43)名	30名	13名	69．77%			

≪委員会報告≫

・椋梨　委員長

カンボジアの視察から戻りました。プノンペンから、2 時間半くらいのところに行ってきました。かつて運河をまわらなくてはいけなかったところが、日本の支援で横浜の橋と全く同じ橋が架かっていました。

教育関係者、政府の関係者、日本でいうスポーツ庁長官と会い、視察しました。関係者に歓迎していただきました。体育施設建設の準備を進めておりますが、地区補助金の申請をします。ご協力をお願いいたします。

湘南学園で青少年交換学生の説明会を開催しました。8 名の希望者がいます。11 月の選考会に向けて、藤沢 RC として応援お願いいたします。

テーブルにお配りしたお土産のお菓子は、ノム・トム・ムーンという、カンボジアの一般的なお菓子です。お召し上がりください。

≪お祝い≫

会員誕生日　10 月 7 日　大辻　克幸　会員

≪スマイル報告≫

藤田　浩二　会長

松永様、本日はお忙しい中ありがとうございます。卓話、宜しくお願い致します。

岩田　和　会員

欠席が多くて申し訳ありません。

大小原　徹　会員

全出席の表彰、ありがとうございました。

鈴木　大次　会員

松永理事長、本日は宜しくお願い致します。

≪小話　3 分間スピーチ≫

泉　信子　会員

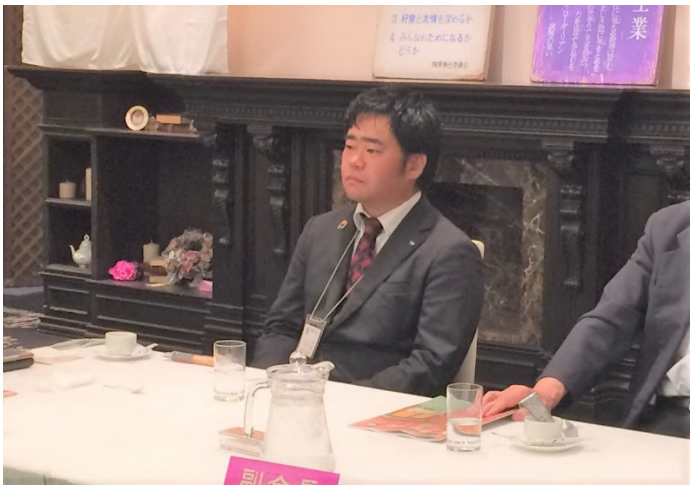
木島先生よりのご指名で、お話させていただきます。浜松の著名な弁護士、ロータリアンでいらした山根七郎治先生が、おっしゃいました。品性には、上品、下品、酒品、声品というのがあるそうです。人間は品性を磨かなくてはなりません。ご縁ありまして、当地でロータリーに所属しております。藤沢ロータリークラブの創立メンバーでいらっしゃる、岩崎裕俊様にも同じことをうかがいました。ロータリーとは、品性を磨き、奉仕、協力し、楽しくやりましょうと言われました。

浜松の山根先生のお宅では、園遊会を開かれることがありました。幸田文さんがお客様でいらっしゃいました。大きなお家の広大なお庭、庭師さんが、素晴らしくきれいにしていらっしゃいました。ところがきれいにしたお庭にまた、庭師さんは、木の枝を振って、葉を落としています。きれいにしたのになぜかと思い、うかがいますと、山根先生のお言いつけだとうかがい

ました。お客様のためにお掃除をしたのではないという「おもてなし」なのだそうです。

≪卓話≫

『藤沢青年会議所の活動について』
一般社団法人藤沢青年会議所
理事長　松永　大希　様
（紹介者：鈴木　大次　会員）



松永様のご職業は弁護士さんです。
農作業がご趣味。

鈴木会員より松永様をご紹介

藤沢青年会議所は、現在 57 名で活動中。
地域や地域の子供たちの為の活動をしています。
今年の 4 月「おさかな天国」を開催しました。小学 4－6 年生の子供たち 25 名と保護者に参加してもらい、アジのさばき方に体験してもらいました。魚のさばき方は、飲食店を経営している青年会議所のメンバーがレクチャーしました。普段食べているものから、命の大切さを知り、親子のふれあいを持ってもらうための時間となりました。魚はつみれ汁を作って、みんなで食べました。また、稚魚を放流するスライダーに子どもたちの名前を書いてもらい、寄贈しました。スライダーは、藤沢市で開催された稚魚の放流事業で使っていただいています。

7 月には、「とうもろこし畑で収穫体験」という事業を開催しました。小学 4 年から中学 3 年生までの 100 名に集まってもらいました。場所は、日本大学のキャンパスです。生物資源学科学部の学生さんに協力していただき、子どもたちとふれあい、佐藤農園さんで収穫を体験してもらいました。「おさかな天国」もそうですが、子ども達に命の大切さや、自然とのふれあいを実際、経験してもらうということが今年のテーマとなっております。それが子ども達の健全な育成にはたらくのでないかと考えます。キャンパス内のウォークラリーで藤沢市の農業に関するクイズに答えてもらい、暮らしている街の農業の形態や、野菜がどうやってお店に並ぶのかをグループに分けて、学生の皆さんについてもらいました。収穫したトウモロコシは、生でも食べられるものでいたので、生と茹でたもの両方を食べて、味の違いを感じてもらいました。トウモロコシを茹でて下さったのは、自衛隊の方のご協力でした。
9 月には、湘南台公園で、「CEATE THE FUTUE～僕らの未来予想図フェスタ～」を開催しました。藤沢といいますと藤沢駅周辺や江の島がクローズアップされがちですが、地域の魅力を再発見しようということをテーマとし、藤沢北部、湘南台にスポットを当て、開催しました。藤沢北部の企業さん、団体さんのご協力、出店をしていただき、来場者に楽しんでもらいました。いすゞ自動車さんのブースでは、トラック乗車、制服を着ての写真撮影、工場見学などをさせていただきました。日本大学の乗馬部では、馬に乗せていただきました。乗馬部では日頃近隣で、においについて言われ

ることがありますので、どんなことをやっているのか地域の皆様に知っていただくために出店していただきました。当日整理券が配られるほどの行列ができました。自衛隊さんにもブースを出していただき、制服を着ての写真撮影をしていただきました。当日、会場に来ていただいた方にアンケートを取らせていただき、藤沢北部、湘南台はどういう風に発展してほしいか、どんなお店があったらよいかなどをうかがいました。600 名の藤沢工科高校学生の皆さんに自分たちの考える湘南台がどうなっていってほしいか発表をしてもらいました。

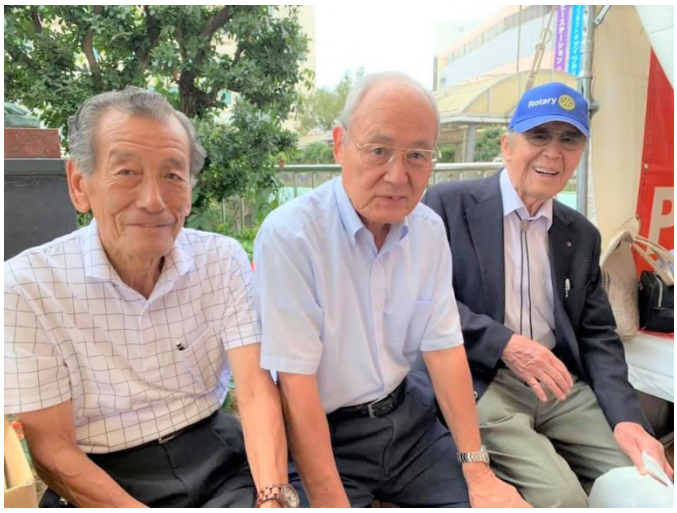
青年会議所では SDG s の活動をしております。私たちの活動のすべてが、SDG s に当てはまると考えますが、知らない方に SDG s を知ってもらうために構成メンバーでこの SDG s のバッジをつけております。2030 年を目標に来年以降も SDG s を意識した活動をしていく事になると考えています。

青年会議所には、合計 7 年間在籍することになりますが、青年会議所の良さの一番は、人との出会いだと思います。仕事をしている中では、絶対会わない業態の方と知り合う事が出来ることです。私自身、視野が広がり、生涯付き合っていける仲間を得たことだと思います。社会勉強をさせていただき、自分自身の成長のためになっていると考えます。もちろん地域や子供達のためにやっていることが結果として、ついてきたらうれしく思います。

エントランスホールのお花

本日のお料理

≪藤沢市民祭り　ポリオキャンペーン≫



湘南学園インターアクトクラブの生徒さんもお手伝いくださいました。